

# 小児初期救急医療体制に関する現況調査 結果概要

## 調査概要

【区市町村向け調査】

- 調査時期：平成28年6月
- 調査対象：区市町村(53区市町村)
- 調査内容：小児初期救急医療体制に関する現況調査
- 回答数：53区市町村(回答率 100%)

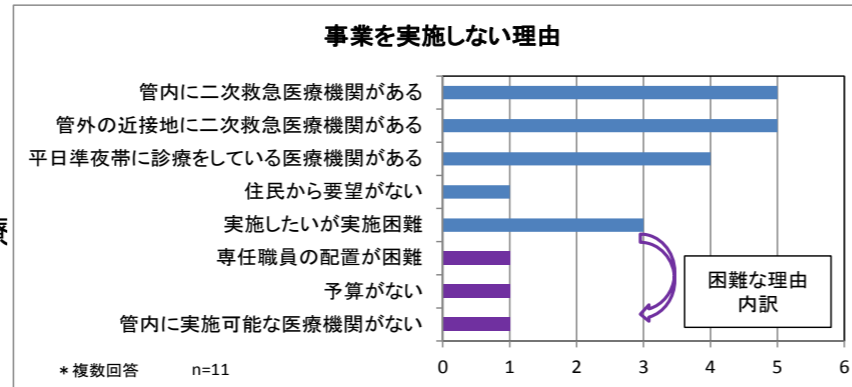
【医療機関向け調査】

- 調査時期：平成28年5月～6月
- 調査対象：① 東京都指定二次救急医療機関(小児科)[52施設]  
② ①以外で小児初期救急平日夜間診療事業未実施地区の主要医療機関[2施設]
- 調査内容：小児初期救急に関する現況調査
- 回答数：54施設(回答率 100%)

## 区市町村 調査結果〔事業未実施地区(13区市町村)の調査結果〕

### 1 小児初期診療事業を実施しない理由

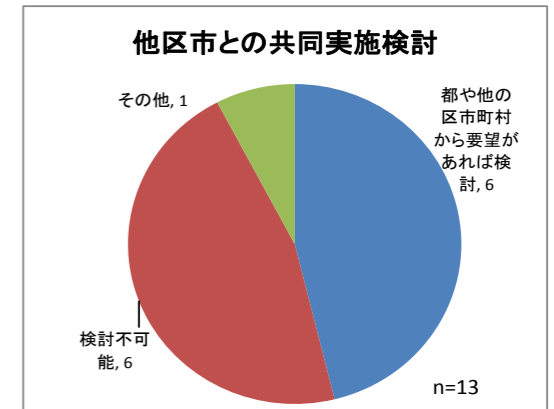
- 実施しない理由は「管内に二次救急医療機関がある」「管外の近接地に二次救急医療機関がある」が最も多かった



### 2 他の区市町村との共同実施について

- 事業未実施13区市町村のうち、6区市町村は「要望があれば他区市町村との共同実施を検討」と回答

\* なお、既に事業を実施している40区市町村への調査では共同実施について50%の区市町村が「要望があれば検討」と回答



## 医療機関 調査結果

### 3 小児初期救急患者を受け入れる負担感

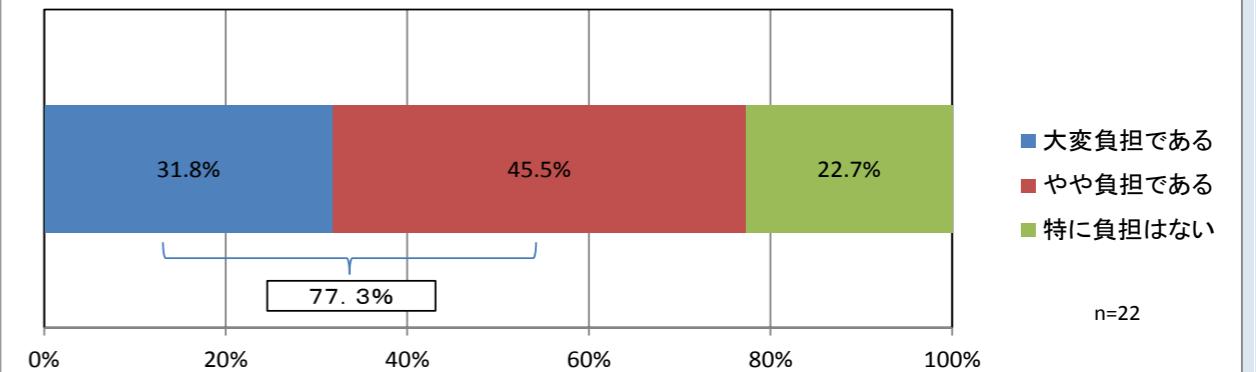
- 「小児初期救急平日夜間診療事業」を実施していない区市町村に所在する医療機関及び その周辺の医療機関※ 全22施設のうち、

「大変負担である」又は「やや負担である」と回答した医療機関は **77.3%**

- 一方で、「特に負担はない」と回答した医療機関は **22.7%**

※事業未実施地区が「管外に二次救急医療機関があるため実施しない」と回答した該当の二次救急医療機関

負担感(未実施地区等の医療機関)



## 調査結果まとめ

- 管内外に二次救急医療機関があるため小児初期事業を実施していない区市町村がある一方で、該当の医療機関では8割弱が負担を感じている(負担を感じていない医療機関も一定数あり)
- 既に事業を実施している地区・実施していない地区ともに、共同実施の検討には前向きな区市町村が約半数あり、支援強化により実施地区の広がりが期待できる